



2020年8月28日

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が発行する  
「CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資について

筑波銀行（頭取：生田 雅彦、本店：茨城県土浦市）は、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する CBI 認証付きサステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資を決定しました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券は、複数の国際基準（※1）に適合している旨、国際的な第三者評価機関である DNV GL による検証と、厳格な国際基準を設ける Climate Bonds Initiative（CBI:低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しております。

また、本債券の発行により調達した資金は、環境負荷の低減や地域の生活に必要な交通インフラの整備等に充当され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）（※2）の達成にも貢献するものです。

当行は、「筑波銀行 SDGs 宣言」を策定しており、今後も ESG 投資・金融の推進を通じて、地域社会の持続的な発展に向けて貢献してまいります。

記

<本債券の概要>

銘柄	第 139 回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 (CBI 認証付きサステナビリティボンド)
年限	10 年
発行総額	100 億円
利率	0.155%

※1 気候ボンド標準 2.1 版、低炭素交通基準（CBI）、グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則・サステナビリティボンドガイドライン（2018 年国際資本市場協会 ICMA）等

※2 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015 年 9 月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲット

以上

報道機関のお問合せ先  
筑波銀行 総合企画部広報室  
TEL 029-859-8111